

目次

概要

[Postgres ベースのリポジトリが受信することどのようにポートを変更しますか。](#)

概要

Postgres ベースのリポジトリが受信することこの資料にポートを変更する方法を記述されています。

Postgres ベースのリポジトリが受信することポートを変更する方法

Cisco インフォメーション・サーバー (CIS) v7.0 およびそれ以降では、CIS の各例はリポジトリプラットフォームとして動作するために Postgres の自身のローカル専用例を展開します。ここに見られるように及ぶケースでは CIS は受信することポート範囲を変更したいとき、また HTTP + 8) 同様にそれを保存するため含んだ内部リポジトリ ポート (ベースを変更したいと思うかもしれません) :

- HTTP はポート +1 を = JDBC、ODBC および ADO.NET 基づかせています
- HTTP ベース ポート +2 = HTTP SSL
- HTTP はポート +3 を = JDBC、ODBC および ADO.NET SSL 基づかせています
- HTTP ベース ポート +4 は = 予約しました
- HTTP ベース ポート +5 は = 予約しました
- HTTP ベース ポート +6 = モニタ
- HTTP はポート +7 を = アクティブなクラスタ/JGroups 基づかせています
- HTTP ベース ポート +8 = **リポジトリ デフォルト**
- HTTP ベース ポート +9 = Monitor (reserved)

リポジトリ ポートが常にあることができるようにそれが必要となりません (ベース HTTP + 8)、組織原因でこの配置を望むかもしれません。

リポジトリ ポートはスタジオ設定 ユーザーインターフェイスの新しい基礎 HTTPポートを選択するときリセットを得ません。リポジトリ ポートはスタジオ設定 ユーザーインターフェイスで設定できませんどちらか。ただし、手動で /conf/server/server_values.xml ファイルを編集できます。 .xml ファイルのタグのセットのこのペアを探して下さい:

たとえば 9410 から 9400 までこのサーバの基礎ポートを再構成したら、そしてまた 9418 から 9408 にリポジトリ ポートを変更したいと思うかもしれません (このポート提供されるこのホストの利用可能です)。前例に見られるようにタグのポートを編集して下さい。これはそれで CIS をですポート 9408 Postgres に接続させます。

この場合ポート 9408 で Postgres リッスンを作るも必要があります。 \ postgresql.conf 変更しますこの例に見られるようにポートを編集し、 \リポジトリ、 \データ、 :

ポート = 9418 # (変更は再始動を必要とします)

これが実施されることができるよう Postgres および CIS 両方の再始動が必要となります。